

デジタル放送への移行完了のための関係省庁連絡会議（第 6 回） 議事要旨

1 日 時

平成 20 年 7 月 10 日（木）14:00～15:00

2 場 所

中央合同庁舎第 7 号館 共用第 2 特別会議室（12F）

3 議事の要旨

(1) まず、内閣官房から、配布資料に沿って、「地上デジタル放送への移行完了のためのアクションプラン（案）」及び「地上デジタル放送への移行完了のためのアクションプラン 2008 骨子」に対して寄せられた意見及びそれに対する考え方」について説明があった。

○ アナログ放送停止のリハーサルについて、パブコメでの要望等を踏まえて是非実施をしてほしいという意見があった。これに対しては、要望を重く受け止めて検討したいという返答があった。また、低廉で簡易なチューナーの普及・促進については、視聴者が買い控えを起し、その結果として受信機の普及促進が阻害されることのないように注意して広報をしていく必要があるのではないか、という指摘があった。これに対しては、指摘の点も留意して広報をしていきたい旨の返答があった。

○ 現在の課長クラスの会議から更に上のレベルの会議の設置を検討する考えは有るのかという質問があった。これに対しては、平成 23 年のデジタル移行を確実なものとするためのふさわしい体制作りがどうあるべきかということについては検討していくということ、という返答があった。

(2) 続いて、総務省から、配布の参考資料に沿って、「地上デジタル放送の利活用の在り方と普及に向けて行政の果たすべき役割（総務省情報通信審議会平成 16 年諮問第 8 号） 第 5 次中間答申」概要」について説明があった。

○ 移動体通信端末でもデジタル放送を視聴できるということは、地上デジタル放送のメリットとして強調してもいいのではないかと、という指摘があった。これに対しては、そういった点も今後もメリットとして強調していきたい旨の返答があった。

本日の議論を踏まえ「地上デジタル放送への移行完了のためのアクションプラン 2008」を決定した。